

「スタートアップ社会実装推進事業」を開始 スタートアップから試作品開発・実証実験・トライアル導入の企画を募集

～横浜をフィールドに挑戦するスタートアップを強力に応援します～

横浜市は、将来の横浜経済の成長の担い手となるスタートアップの優れた技術シーズやアイデアの事業化を後押しするため、「スタートアップ社会実装推進事業」を実施します。
スタートアップを対象として、社会実装を目指すサービスや製品等の試作品等の開発、実証実験及びトライアル導入の企画を募集します。



応募について

脱炭素化・DXをはじめとする最先端分野などで、「試作品等の開発や実証実験」、「市内中小企業・横浜市役所へのトライアル導入」のコース別に、スタートアップを対象として企画を募集します。これにより、社会課題の解決や横浜経済の持続的な発展に資する、スタートアップの優れたサービスや製品の社会実装を促進します。

【募集について】

1 募集対象

- ・法人設立後概ね10年以内のスタートアップで、応募時点で横浜市内に事業拠点を有する、または企画採択後事業実施期間中に横浜市内に事業拠点を設置予定であること。
- ※コースにより、市内大学の研究者等や、横浜市外に事業拠点を置くスタートアップも対象となる場合があります。

2 対象事業

- ・脱炭素化、DXをはじめとする最先端分野など、社会課題の解決や横浜の経済成長につながる分野で、新たなビジネスを創出するための、「試作品等の開発・実証実験」及び「横浜市内中小企業や横浜市役所を導入先とするトライアル導入」

3 募集期間

令和4年11月14日（月）10時から令和4年11月30日（水）17時まで

4 採択企業数

- 試作品等の開発、実証実験：20者程度 / トライアル導入：30者程度
※採択には審査があります。

募集要項等は11月14日(月)10時に、下記のウェブサイトに掲載します。

〈詳細・応募〉

URL: <https://yoxo-o.jp/su-jisso/>

〈お問い合わせ〉

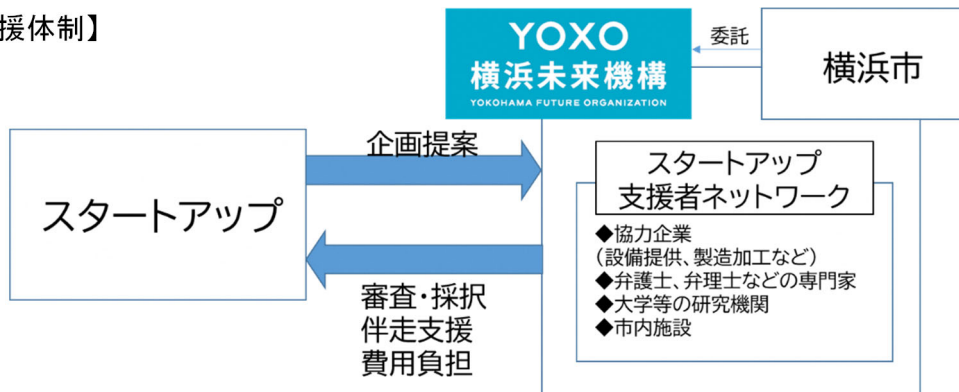
横浜未来機構 E-mail: su-info@yoxo.jp

※本事業は、横浜市経済局と横浜未来機構が市民協働事業として実施しています。

事業の概要

スタートアップの事業化の障壁となっている試作品等の開発・実証実験、トライアル導入の実施から効果検証までを一気通貫で伴走支援します。

【支援体制】



【支援内容（例）】

コース①: 試作品等の開発・実証実験

- 高い技術力を有する市内事業者とともに試作品をスピード開発
- 企画内容にあったフィールドの提案や、関係者との調整で実証実験を早期実現
- 専門家や学識者の知見を活かしたアドバイス

コース②: トライアル導入

- サービスや製品の特性に応じた導入先の提案、希望する導入先との調整支援
- 導入実績の広報支援
- 導入効果の検証に関するコンサルティング

事業の背景・意義

横浜の成長・発展を果たしていくためには、今後の税収や雇用を担う成長性の高いスタートアップを数多く生み出していく重要な局面にあります。

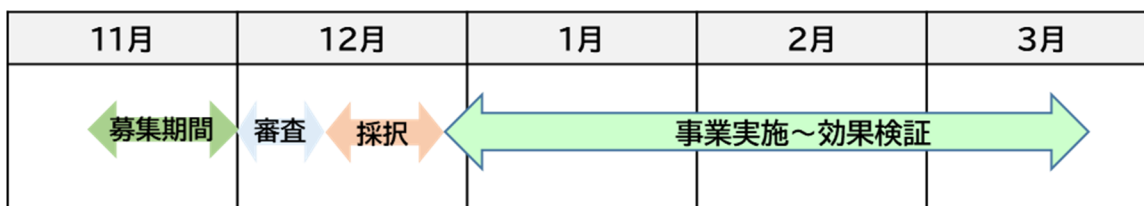
令和元年に関内地区に設置したスタートアップ支援拠点「YOYO BOX」を中核としたスタートアップ支援ネットワークとコミュニティ形成により、横浜市内で有望なスタートアップが生まれています。

一方で、優れた技術シーズやアイデアを持っていても、試作の開発や実証実験が資金力など経営資源の乏しいスタートアップの立ち上げ初期の障壁となっています。

そこで 本事業により、スタートアップが有する革新的な技術やアイデアの事業化に向け、試作開発や実証実験や、新たなサービスのトライアル導入を促進することで、社会実装を推進し、急成長するスタートアップを創出します。

また、トライアル導入先を市内中小企業とすることで、中小企業のビジネスモデル転換や生産性の向上に寄与するほか、横浜市庁内でも実施することで、新たな市民サービスの提供や事業手法転換につなげていきます。

スケジュール



募集説明会(オンライン)

令和4年11月18日(金) 15時~16時
申込方法は下記ページでご確認ください
URL <https://yoxo-o.jp/su-jisso/>

【参考】横浜市のスタートアップ支援の取組について

横浜市は、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。これまでに、みなとみらい地区の研究開発拠点をはじめ、様々な民間企業や、大学等によりイノベーション人材の交流機会が形成されています。

この取組を更に大きなムーブメントとしていくため、象徴となるロゴマーク YOXO (よくぞ) を決定し、関内にスタートアップ成長支援拠点として、「YOXO BOX (よくぞボックス)」を設置。YOXO BOX では、ビジネスモデルのブラッシュアップや事業会社とのマッチング、投資家等による資金調達などスタートアップの成長・発展に向けて、各種プログラムを実施しています



【参考】横浜未来機構について

【横浜未来機構 (英文名: Yokohama Future Organization) 概要】

- (1) 組織形態 任意団体 (会員制団体)
- (2) 設立日 令和3年3月31日 (活動開始: 令和3年8月26日)
- (3) 会員等 正会員: 88者、特別会員: 横浜市、賛助会員: 20者、連携協力団体: 27団体
- (4) 会長 国立大学法人横浜国立大学 学長 梅原 出

ウェブサイト <https://yoxo-o.jp/> (日本語) <https://yoxo-o.jp/en/> (英語)

【設立趣旨】

今、世界・日本では、地球環境の変動、少子高齢化、コロナ禍など、社会・経済の大きな変革が迫られています。ここイノベーション都市・横浜から、企業・アカデミア・公共などの多様な人材が、組織や領域を越えてともに考え、試し、成長できる環境を構築し、新たなアイデアやテクノロジーからイノベーションを生み出す循環をつくることで、誰もが快適に自分らしく生きることができ、人間中心の未来社会の実現を目指します。

お問合せ先

経済局 新産業創造課長 高木 秀昭 Tel 045-671-3913

※本件は、経済記者クラブへも同時発表しています。